

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【いじめゼロフォーラム】	①各クラスでいじめゼロスローガンや達成に向けた取り組みを考え、6月25日に集会を開き、宣言を行った。そして、集会の中でいじめとはどういうものかの動画を視聴し、全学年理解を深めた。そして、スローガンや取り組みを教室や人権コーナーに掲示し、日常的に目につくようにした。学期末にはアンケートを行い、各クラスの達成状況を確認した。 ②全学年において、道德の時間等を活用して心温まる人権メッセージを考えた。
	成果 ・各クラスでいじめゼロスローガンや達成に向けた取り組みを考えることで、友達を思いやる心を育むことができた。 ・学期末にアンケートを行うことで、一年を通して、スローガンを意識しながら生活をすることができた。また、来年度に向けての課題や引き続き行いたい取り組みを挙げることができていた。 ・人権メッセージを考えたことによって、多様性を認め合うことや人権を守ろうとする態度を養うことができた。
	課題 ・様々な「人権課題」について全児童に伝えることが難しいと感じた。低学年にも伝わるような、それぞれの人権課題のイラスト等を作成し、さらに深められるようにしたい。
2 実践2 【人権の広場「あったかメッセージ」】	・児童一人一人の自己肯定感を高めるために、心温まるメッセージを伝え合う場を設けた。友達に対して、すごい、ありがとう、頑張っているね、すてきだねという気持ちを伝え合い、学年のまとまりで掲示物を作った。同じ学年同士だけでなく、他学年にもメッセージを書いてよいことを伝え、異学年交流もできるようにした。
	成果 ・「あったかメッセージ」を行ったことで、友達のよいところを見つけるということが日常的に行われ、そのメッセージを見ることにより自己肯定感の高まりが見られた。
	課題 ・児童自身から積極的にメッセージを書くことがあまりなかったため、次年度は意欲的に書けるように、教員が積極的に書くなどしてさらに実践につなげたい。 ・全学年の児童が日常的に目にしやすいように、掲示場所を工夫する必要がある。